

**注意** ご使用になる前に必ずお読みください。(本書は大切に保管してください)

**安全にご使用頂くために**

本書では危険を伴う操作・お取扱について、次の警告記号を用いて重要な部分が一目で判るようにしています。内容を良くご理解の上で本文をお読みください。

**警告** この表示を無視して、誤った取扱をすると人が死亡又は、重症を負う可能性が想定される内容を示します。

**注意** この表示を無視した取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示します。

**●設置 注意**

- ディスプレイを取り付ける際はディスプレイの説明書と異なった設置条件では取り付けないで下さい。機器の破損の原因となります。
- やわらかい床面、傾いたところなど不安定な場所に設置しないで下さい。転倒し怪我の原因となることがあります。
- 搭載荷重以上のものを搭載すると落下し機器の破損、怪我をする恐れがありますので搭載物の重量を確認し搭載してください。

**●使用方法 注意**

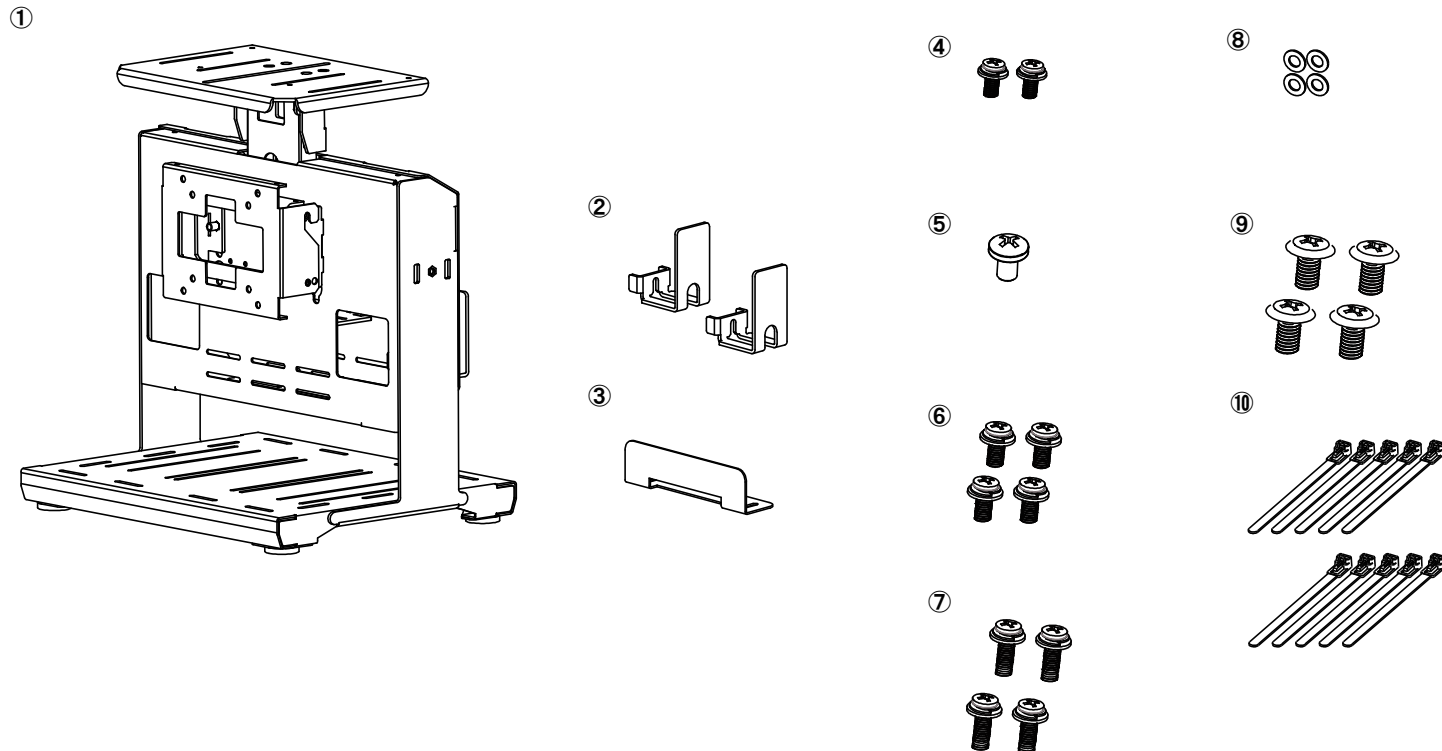
- 設置後はボルト、ノブ等の緩みがないか定期点検を実施してください。

**1. セット内容**

※組立にはプラスドライバーを使用しますのでご用意ください。

番号	部品名	数量	番号	部品名	数量	番号	部品名	数量
①	本体	1ヶ	⑤	カメラ取付ネジ 1/4-20×3/8	1ヶ	⑨	組立ネジ M5×10	4ヶ
②	ケーブルフック※1	2ヶ	⑥	ディスプレイ取付ネジ M4×12	4ヶ	⑩	結束バンド	10ヶ
③	コーデック固定金具	1ヶ	⑦	ディスプレイ取付ネジ M4×15	4ヶ			
④	コーデック取付ネジ M3×10	2ヶ	⑧	ディスプレイ取付ワッシャー	4ヶ			

※1\_ケーブルフックは本体に装着されているものとは別に、2ヶ添付されています。



**2. 機器搭載の準備**

- 製品に組み付けられているマウントプレートと背面パネルを取り外します(図2-1)  
マウントプレートはディスプレイ位置調整金具の下段2箇所(1)のネジを2本を取り外し、上段2箇所(2)のネジを緩める事で取り外す事が出来ます。背面パネルは左右2箇所(4)のネジを取り外し、上方向にスライドさせる事で取り外す事が出来ます。

- カメラテーブルの位置を一番高い位置へ変更します(図2-2)  
カメラテーブルを固定しているネジ3箇所(1)を緩め、カメラテーブルを一番高い位置までスライドさせてネジを締めこんで再度固定してください。

図2-1

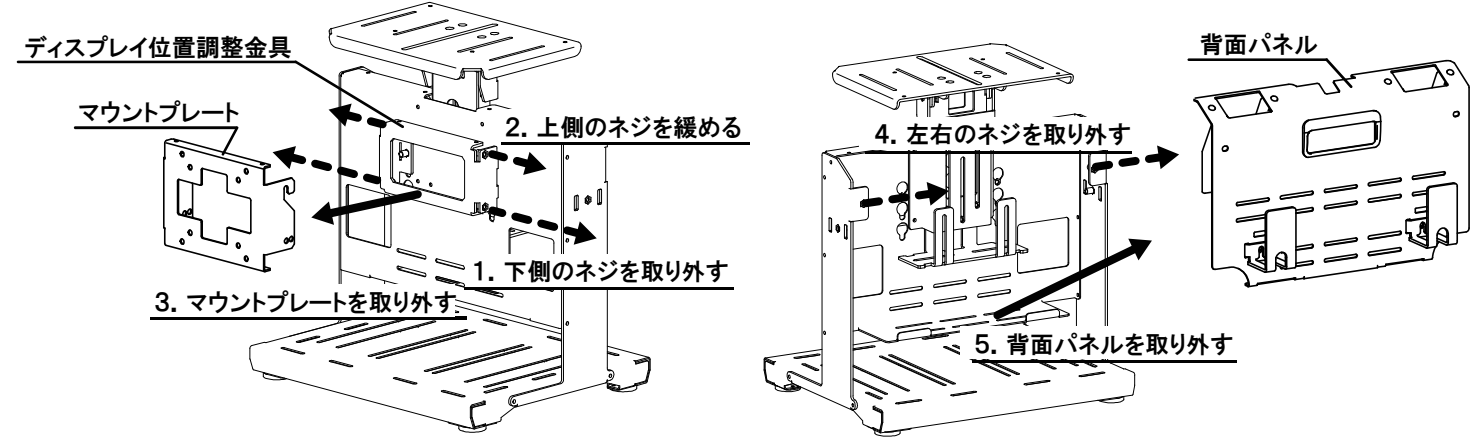
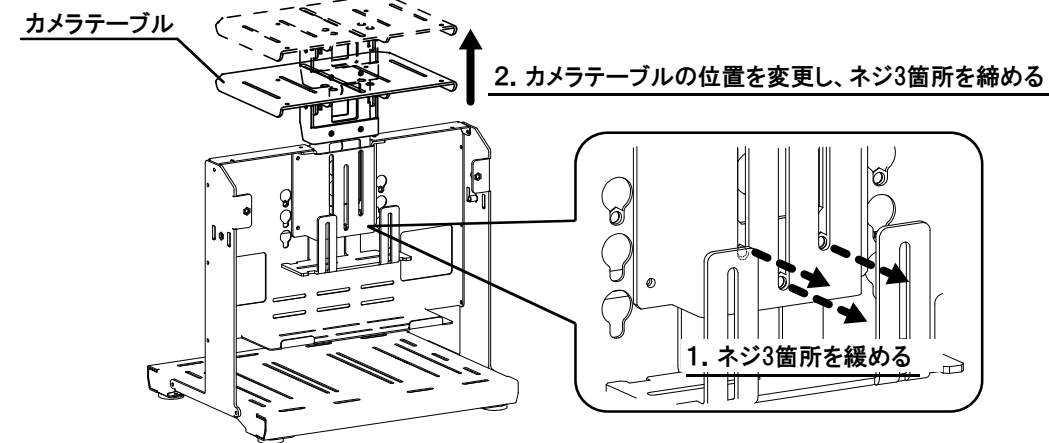


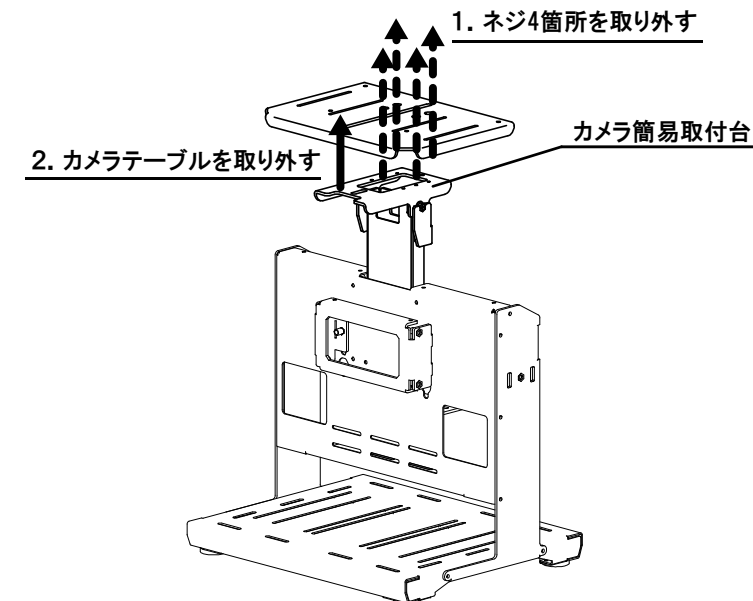
図2-2



- サイズの小さいカメラは簡易取付台に搭載する事が可能です(図2-3)

カメラテーブル上面の4本のネジを取り外し、カメラテーブルを取り外すと簡易取付台が使用出来るようになります。  
※サイズの小さいカメラを搭載する際のみ、カメラテーブルを取り外してください。

図2-3



## 3. 機器搭載手順

### 1 アイポイントの調整

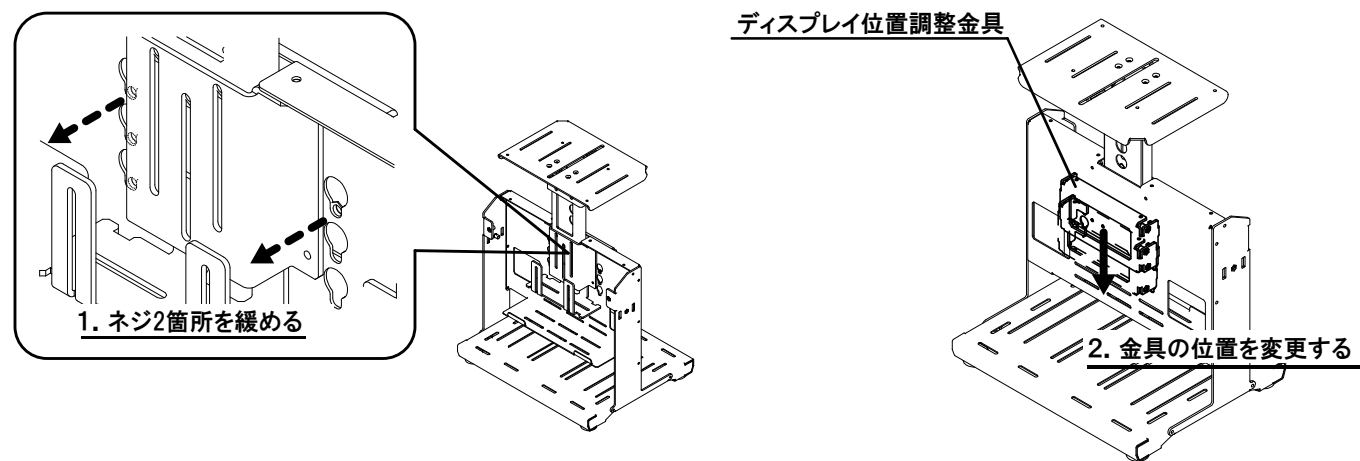
#### 注意

■ディスプレイを搭載した状態でディスプレイ位置調整金具の位置を変更しないでください。機器が落下し破損や怪我をする恐れがあります。

※出荷時は最上段にディスプレイ位置調整金具が組み付けられています。現状よりアイポイントを低くしたい場合にのみ、下記の変更作業を行ってください。

■ディスプレイ位置調整金具のネジを本体内側より緩めると取り外す事が出来ます。適切な位置に変更しネジを締め直して固定してください(図3-1)

図3-1



### 2 コーデック・STBの取り付け

#### 注意

■コーデック・STBは機器固定ベルトやコーデック取付ネジなどでしっかりと固定してください。機器が落下し破損や怪我をする恐れがあります。

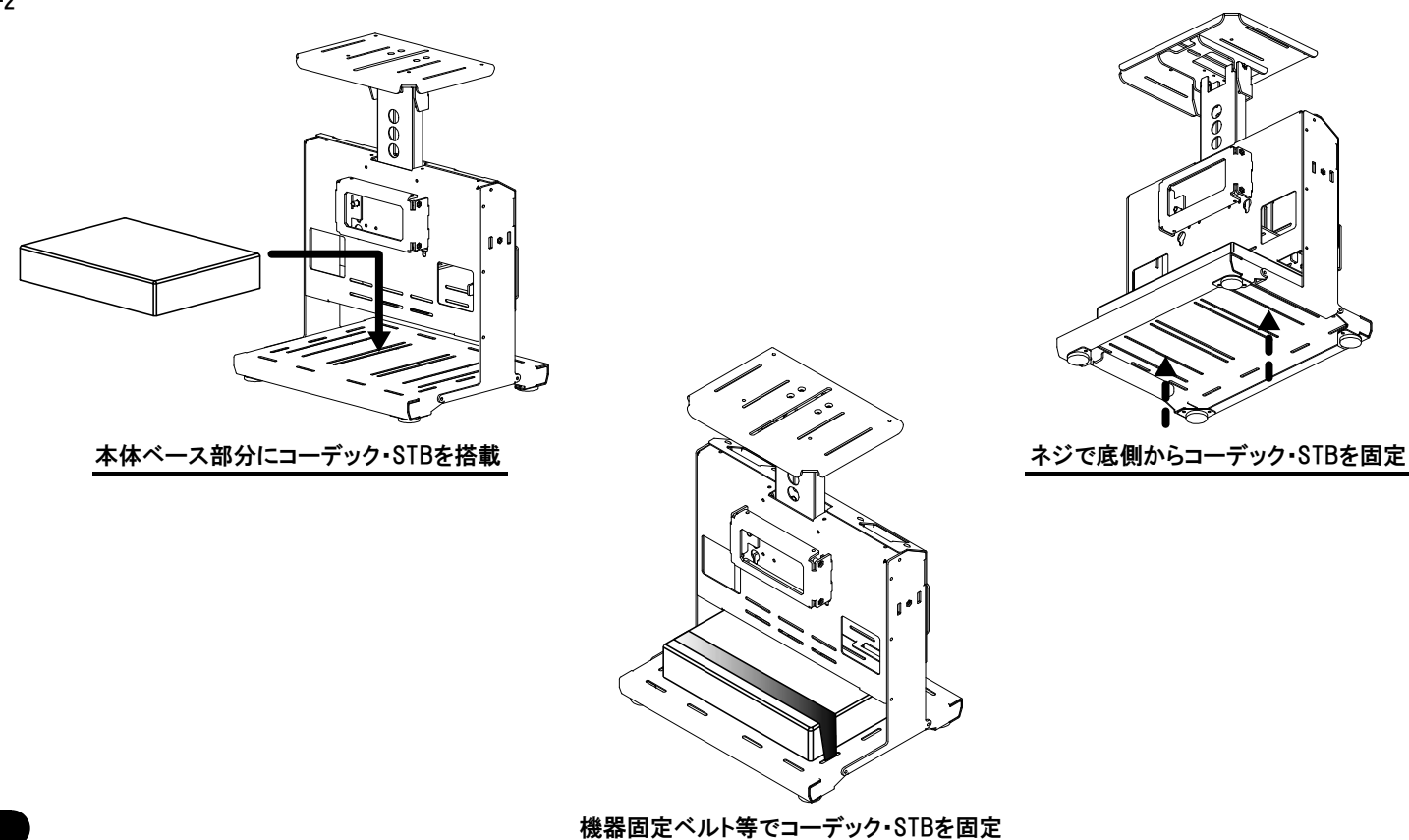
■本体ベース部分にコーデック・STBを取り付ける事が可能です(図3-2)

搭載されるコーデック・STBの形状や機能に合わせて、機器固定ベルトやネジ等の適切な方法で本体ベース部分へ固定してください。

※本製品には⑤コーデック取付ネジ M3×10を添付しておりますが、搭載する機器によって最適なものをお使いください。

※機器固定ベルトは本製品に添付されておりません。最適なものを別途お買い求めください。

図3-2



### 3 ディスプレイの取り付け

#### ●ディスプレイ取付用ネジについて

■本製品にはディスプレイ取付ネジとして2種類同梱(セット内容⑦、⑧)しております。取付されるディスプレイのメーカー・型式によって使用するネジが異なりますので、予めディスプレイ取扱説明書でネジサイズをご確認の上、ご使用ください。

■ディスプレイ型式・メーカーによっては、添付ネジで取付できない場合がありますので、その際は、お近くのホームセンターでお買い求めください。 URL <https://www.world-sds.co.jp/furniture/uploads/FN/tenpubisu.pdf>

#### 注意

■ディスプレイの取り付けは周囲に十分注意をして行ってください。転倒及び落下し機器の破損や怪我をする恐れがあります。  
■ディスプレイ表示面にキズがつく恐れがありますので、きれいな毛布もしくはクッション材をご用意ください。  
■本製品のディスプレイ耐荷重は7.5kgです。それ以上重たいディスプレイは搭載しないでください。

■ディスプレイ付属のスタンドが付いている場合は取り外してください。取り外し方法についてはディスプレイ取扱説明書をご参照ください。

■付属スタンドからディスプレイを外し、ディスプレイ表示部を下にし、きれいな毛布もしくはクッション材の上に置いてください(図3-3)

■ディスプレイ背面に壁掛け固定用のネジ穴がありますのでディスプレイ取扱説明書で取付位置等をご確認ください。

※本製品はディスプレイ方向横設置のみ対応の機種となります。縦方向での取り付けは製品としての保障の対象外となります。

※ディスプレイによってはキャップが付いている場合がありますので取扱説明書に従って取り外してください。

■マウントプレートディスプレイ背面の壁掛固定用ネジ穴に合わせ、ディスプレイ取付ネジでしっかりと締め込み取り付けしてください(図3-4)

※必要であれば、ディスプレイの背面の起伏に合わせて⑨ディスプレイ取付ワッシャーで段差を調整してマウントプレートを取り付けてください。

図3-3

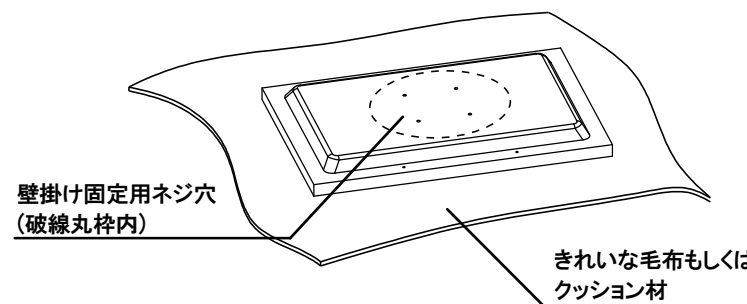
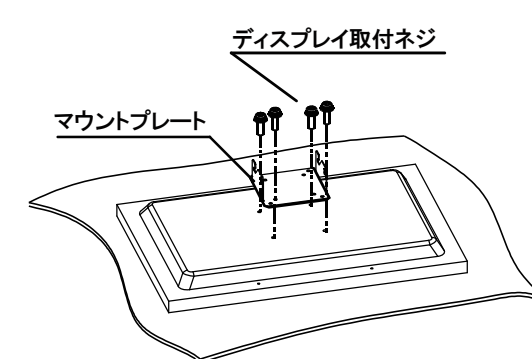


図3-4



■マウントプレートをディスプレイ背面に取り付け終わったら、ディスプレイをしっかりと持ち、取り外した時と逆の要領で取り付けしてください(図3-5)

■ディスプレイは、チルト角度2段階で調節が可能です。ご使用のディスプレイ、使用環境に合わせて調節してお使いください(図3-6)

図3-5

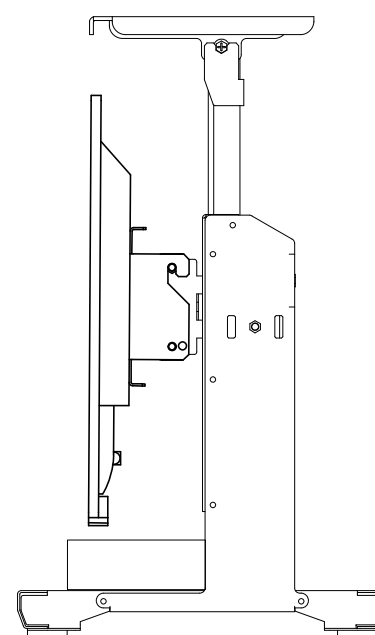
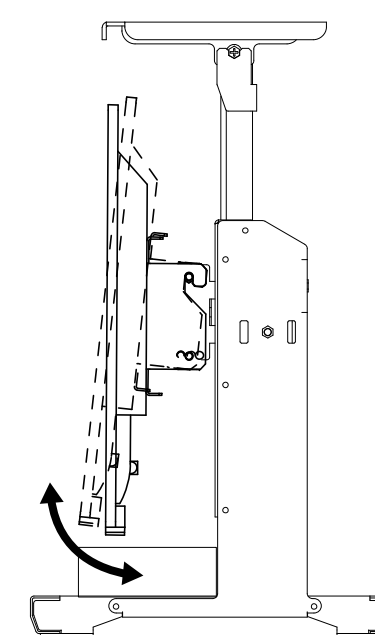


図3-6



4 カメラの取り付け

- 注意**
- カメラ取付部の耐荷重は5kgです。それ以上重たい機器を搭載すると、機器が落下し破損や怪我をする恐れがあります。
  - カメラは機器固定ベルトや同梱の⑥カメラ取付ネジなどでしっかりと固定してください。機器が落下し破損や怪我をする恐れがあります。
  - カメラはカメラテーブルより前に出ないように固定してください。

- 本製品はカメラの形状によって取付方法が異なります。ご使用されるカメラの形状によって最適な方法で取り付けてください(図3-7)
- ※カメラの形状によっては添付の③コーデック取付金具で機器を固定する事が可能です(図3-8)
- カメラ固定部はチルト角度の調整が可能です。前傾・後傾の両方にフリーストップ調整が可能です(図3-9)
- 角度の調整は工具などを使用せず、手で角度を変更してください。
- カメラの固定・角度の調整が終わったら、カメラテーブルの高さを調整してください。

図3-7

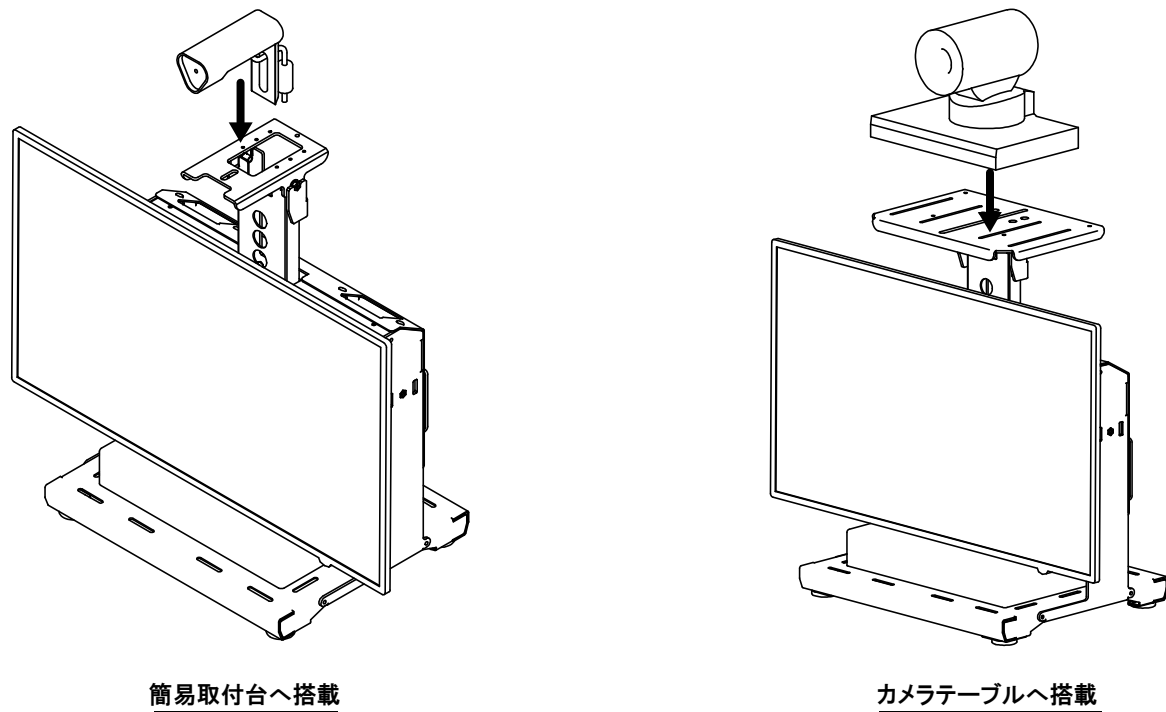


図3-8

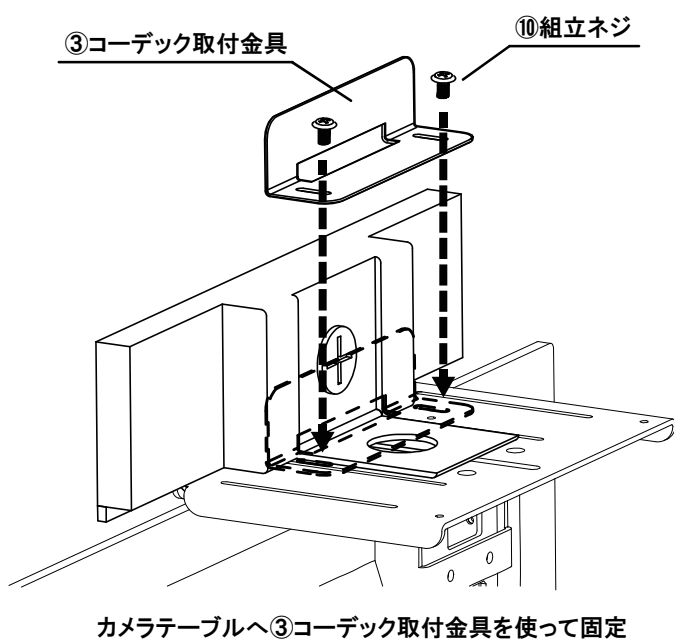
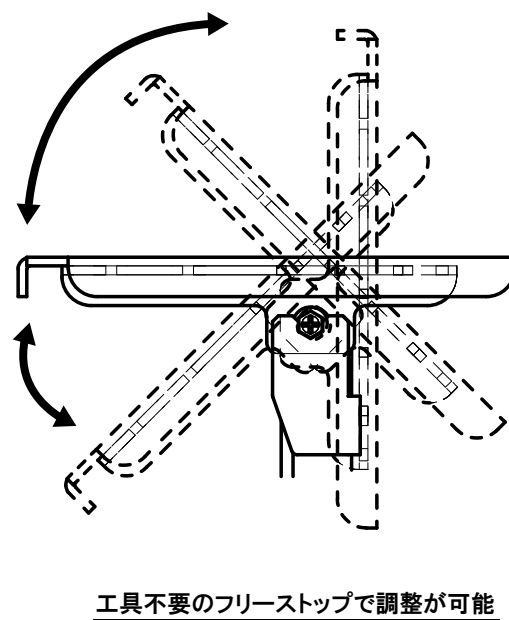


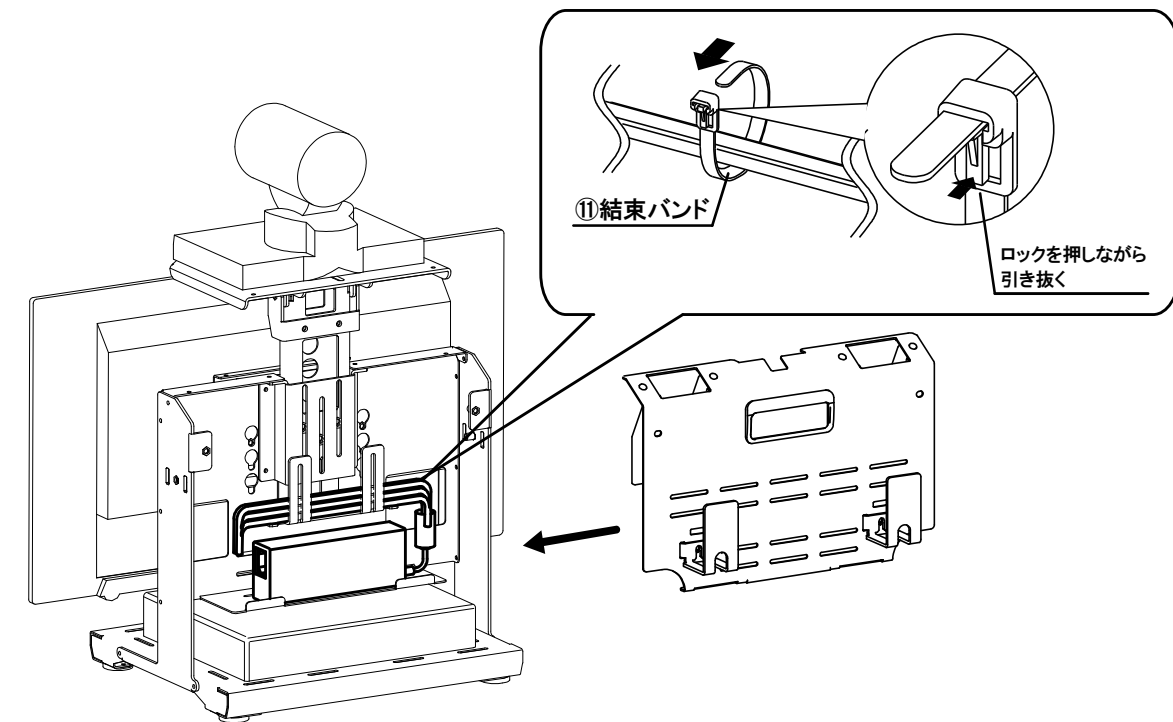
図3-9



5 ACアダプター・ケーブルの収納

- 搭載機器のACアダプターやケーブルは本体内側の固定金具に固定する事で、本体内部へ収納する事が出来ます(図3-10)
- ACアダプターやケーブルは添付の⑪結束バンドを使う事でも固定する事が出来ますが、使用される機器によって適切なものをご用意ください。
- 固定が完了したら、背面パネルを取り外した時と逆の要領で取り付けてください。

図3-10



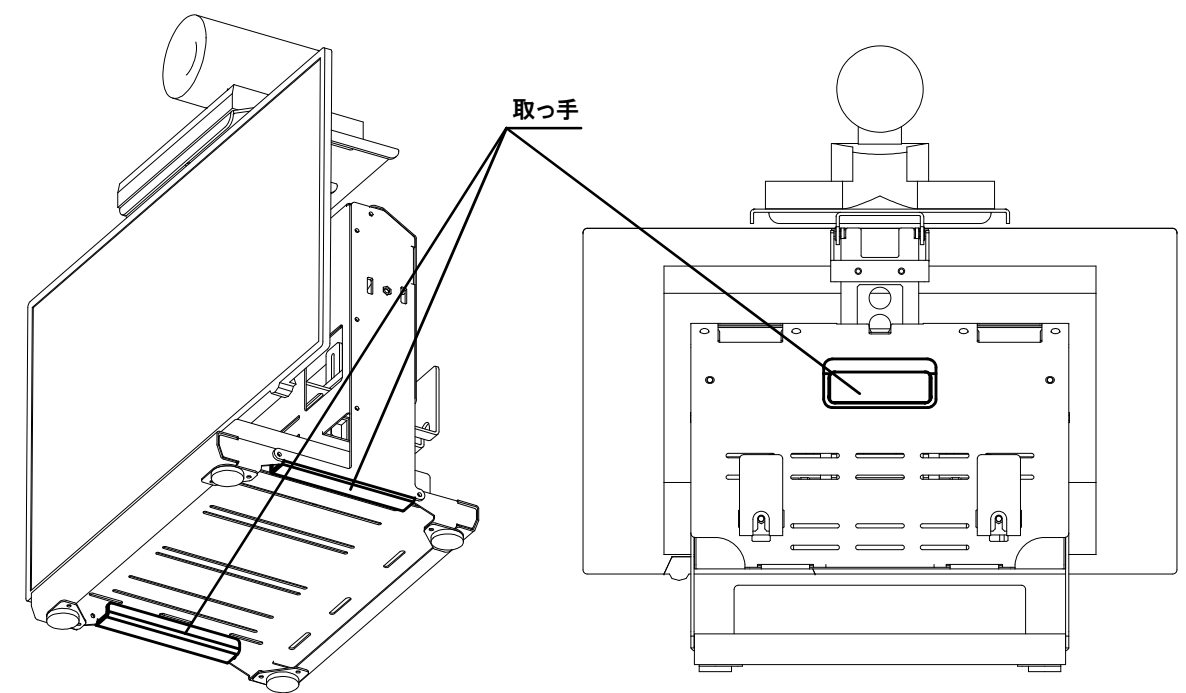
4. 機能

1 持ち運び

- 注意**
- 機器が搭載された本製品を持ち上げる際は、正面側に非常に倒れやすくなります。機器を転倒させないように十分に注意してください。

- 搭載機器の安全のため、持ち運ぶ際は取っ手部分をしっかりと握って持ち運んでください(図4-1)

図4-1

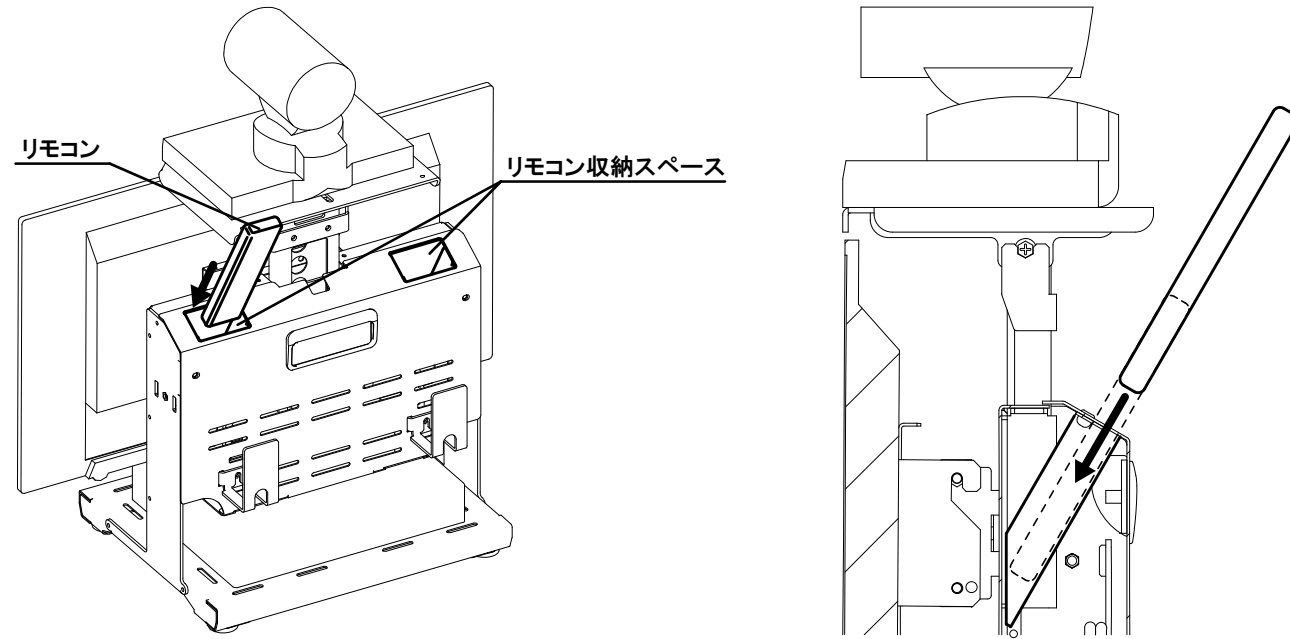




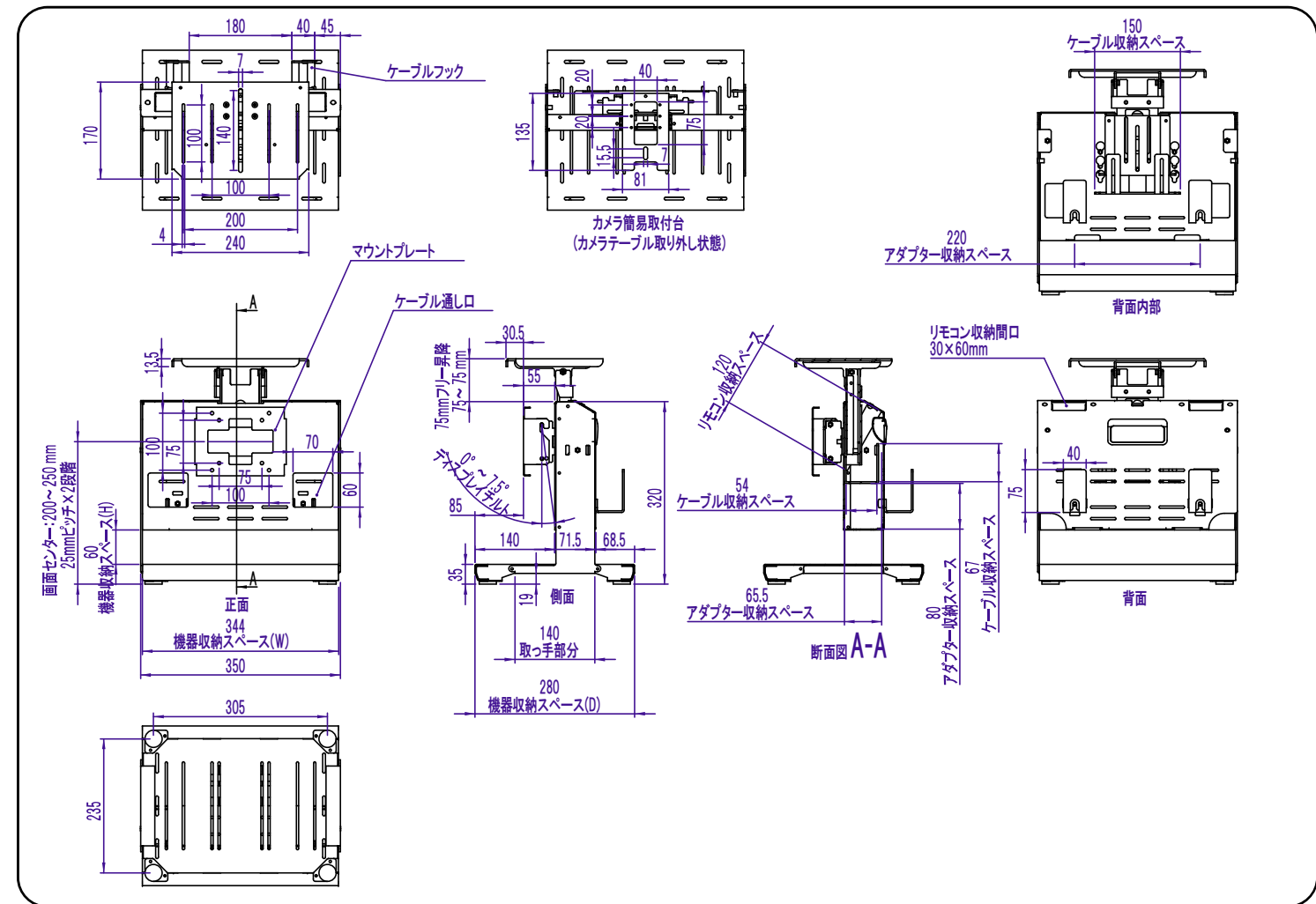
## 2 リモコンの収納

■搭載機器のリモコンは背面パネル上部のリモコン収納スペースに収納する事が出来ます(図4-2)

図4-2



## 5. 仕様図



## 3 ケーブルフックの利用

■ケーブルフックを使うことで、持ち運びや片付けの際に機器のケーブルをとりまとめておく事が出来ます(図4-3)

■ケーブルフックは搭載機器や使用するシチュエーションによって、取り付け位置や方向の変更が可能です(図4-4)

中心のネジを取り外す事で位置や方向の変更が可能となります。変更位置(方向)決定後、ネジを締めこんで固定してください。

※ケーブルフックは本体に装着されているものとは別で2ヶ添付しております。機器のケーブルの本数に応じて装着個数を増やす事が出来ます。

図4-3

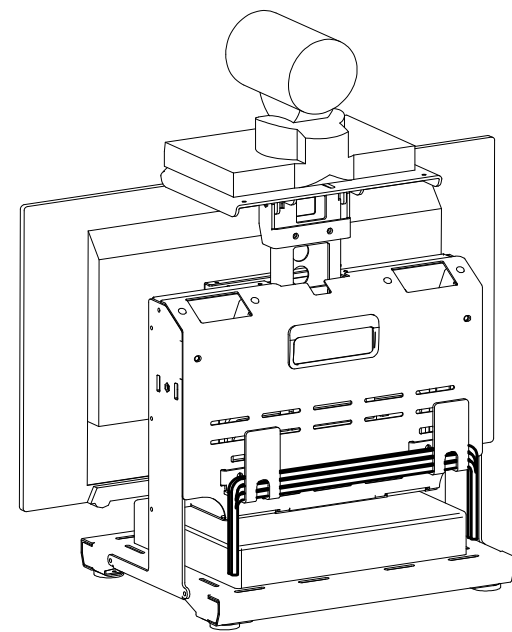


図4-4

